

ご先祖様から私たちへの贈りもの

自然災害伝承碑の事例

(京都府)

第三版 (2023 年 8 月 31 日)

【第二版からの箇所追加分のみ画像等掲載】

2023 年 8 月

辻 謙一 現地撮影

- 文章は一部、国土地理院地図等から引用
- 本資料は研究用として整理したものである
- 標題における「○」は国土地理院地形図に掲載済箇所「●」は未掲載箇所
- 自然災害伝承碑に準ずる災害の痕跡も掲載している

(以下 第三版 追加分)

- 南丹市 上桂川統合堰 水害
- 久御山町 若宮八幡宮 水害
- 京都市 東山区 京阪三条駅 水害
- 京都市 東山区 三条大橋 水害
- 城陽市 奈島 淀姫さん 水害

- 京丹後市 網野町 郷村断層 地震
- 京丹波町 和知町 舟戸橋 水害
- 井手町 大正池 水害

計 8 箇所

(以下 第二版まで)

- 京都市 東山区 知恩院南 室戸台風 強風
- 京都市 右京区 高山寺 室戸台風 強風
- 京都市 東山区 大谷本廟 室戸台風 強風
- 京都市 東山区 京都女子大学構内 室戸台風 強風
- 京都市 上京区 妙蓮寺 室戸台風 強風

- 京都市上京区 西陣小学校(廃校) 室戸台風 強風
- 京都市 上京区 上立売通 水害
- 京都市 北区 御薊橋下流左岸の集落地 水害
- 京都市 伏見区 羽東師神社境内 水害
- 八幡市 善法律寺 室戸台風 強風

- 八幡市 八幡在応寺(三川合流 背割り) 伊勢湾台風最高水位記録標識
- 久御山町 大池神社 水害
- 久御山町 大松寺 木津川決壊 水害
- 宇治市 巨椋土地改良区敷地内 水害
- 城陽市 城陽排水機場内 水害

- 宇治田原町 郷之口 南山城水害
- 井手町 玉水駅構内 南山城水害
- 井手町 石垣区公民館 南山城水害
- 井手町 高神社 南山城水害

○南山城村 南山城水害

○木津川市山城町 南綺田 南山城水害

○木津川市山城町 北平尾 南山城水害

○木津川市山城町 北河原 南山城水害

●木津川市木津 正覚寺境内 洪水供養阿弥陀石仏 水害

●木津川市木津殿城所在地 関東丹後但馬大震大災死者大菩提 地震

●木津川市山城町 泉橋寺 水害

●和束町 大井手用水災害復旧 南山城水害

○亀岡市 平和池ダム跡地 平和池水害

○亀岡市 篠町柏原 年谷川堤防 平和池水害

○亀岡市 矢田天満宮 平和池水害

●亀岡市 亀岡駅南 水害標識塔

●亀岡市 鶯ノ川左岸堤防 改良記念碑 水害

○亀岡市 東別院村 水害

●南丹市八木町 大堰橋上流右岸堤防 水害

●南丹市美山町 大野ダム 水害

●京都市南区 天神川（現西高瀬川）改修碑

●京都市右京区 御室川治水碑

○綾部市 水の記憶の碑小公園 水害

○福知山市 福知山河川国道事務所隣接地 水害

○福知山市 由良川左岸堤防 水害

●福知山市 治水記念館 水害

●福知山市 法川排水機場 水害

●福知山市 堤防神社 水害

●綾部市 綾部用水堰 水害

●京都市上京区 清浄華院 強風による大火

●京都市上京区 円通寺 強風による大火

●舞鶴市和江 瀬戸島開紀功碑 水害

●福知山市 一級河川土師川河川災害復旧助成事業完成記念碑 水害

- 福知山市雲原 雲原砂防 水害
- 京都市山科区 勸修小学校 室戸台風 強風
  
- 京都市伏見区 桃山高校 室戸台風 強風
- 木津川市木津 木津惣墓五輪塔 水害
- 京丹後市峰山 峰山小学校 地震
- 京丹後市峰山 丹後震災記念館 地震
- 与謝野町 板列（いたなみ）神社 地震
  
- 与謝野町 男山板列（いたなみ）八幡神社 地震
- 京都市 西京区 大悲閣千光寺 大堰川開削工事での犠牲
- 京都市伏見区 水垂墓地 水害
- 久御山町 室城神社 水害①
- 久御山町 室城神社 水害②
  
- 宇治市 神女神社 火災
- 京都市 南区 大藪小学校 室戸台風 強風
- 京都市 伏見区 向島小学校 室戸台風 強風
- 京都市 西京区 桂川左岸 水難
- 井手町 宮本水車舊址 水害
  
- 京都市 中京区 瑞泉寺 火災
- 与謝野町 木積神社 地震
- 与謝野 弓木墓地 地震
- 舞鶴市 国道 175 号 水害
- 福知山市 大江町東 由良川 水害
  
- 福知山市 由良川 水害
- 京都市 上京区 本隆寺 火災
- 京都市 伏見区 巨椋池排水機場 水害
- 久御山町 久御山排水機場 水害
- 京都市 右京区 西院小学校 室戸台風 強風
  
- 京都市 左京区 養正小学校 室戸台風 強風
- 京都市 東山区 大谷本廟二天門 室戸台風 強風
- 京都市 伏見区 向島西堤共同墓地 室戸台風 強風

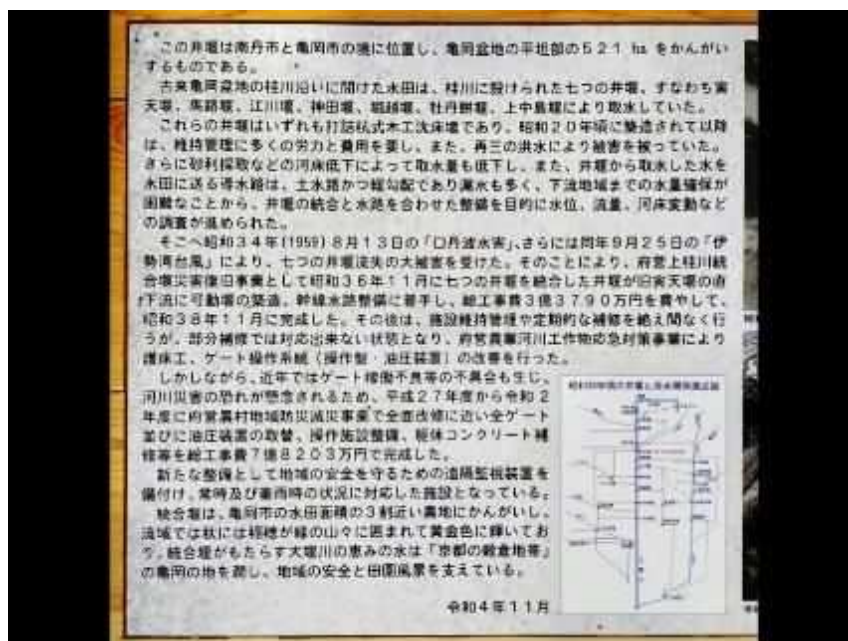
- 宇治市 塔の島 浮島十三重石塔 水害
- 京都市 中京区 染殿院 火災

- 京都市 中京区 妙泉寺 火災
- 宮津市 波せき地藏堂 津波

計 82 か所

**総計 89 箇所**

## ●南丹市 上桂川統合堰 水害





#### (背景)

淀川水系桂川に室町時代に築造された寅天堰を最上流堰とし、徳川時代に築造された馬路・江川・神田・堀越・牡丹餅・上中島の7井堰が亀岡盆地の平坦部約760haの受益地にかんがい用水を供給していたが、昭和34年8月13日の口丹波水害及び同年9月25日の伊勢湾台風により、7井堰の機能は根底より破壊された。

これらの7井堰を各改良区で早急に復旧することは困難であったことから、連合組織として昭和36年9月14日付けで設立認可を受け、昭和38年11月に可動堰、幹線水路の整備が完了した。

施設が整備されたといっても、施設は日々の維持管理や定期的な補修が大切であり、昭和60年度から平成5年度に府営農業用河川工作物応急対策事業により護床工の復旧、ゲート操作系統の改善・平成9年度と平成12年度に土地改良施設維持管理適正化事業で点検整備、塗装塗替えを行なうなど、今日まで時々に応じた整備をたゆまなく続けている。

#### ★分類困難



●久御山町 若宮八幡宮前 水害







(碑文 原文)  
木津川底ヨリ水量標

★分類困難

●京都市 東山区 京阪三条駅 水害



(背景) 京都府 HP から引用

昭和 10 年 6 月の豪雨により、鴨川から水があふれ家屋や橋梁が流失するなどの大災害を被った。被害状況は以下のとおり。

死傷者 12 名 (83 名)、家屋流出 137 棟 (187 棟)、家屋全半壊 158 棟 (295 棟)、床上床下浸水 24,173 棟 (43,289 棟)

( ) 数値は桂川や天神川など他河川の洪水も含めた京都市全域

★昭和 10 年水害

●京都市 東山区 三条大橋 水害



(碑文 原文)

三条大橋は明治四十五年三條通拡張のとき幅員を倍加して一四、五米に、橋長は一〇一米に、橋脚はコンクリート造としたが橋面は従来の風格をもつ木造橋であつた

たまたま昭和十年六月の洪水にあい橋の一部と擬宝珠一個を流失 この水害に鑑み鴨川を改修し、河底を深くしたので、天正以来の敷石、礎石は取除かれた、重ねて今回この橋の修築に際し、橋を鴨川と疏水の二部に分/け、橋長は鴨川部七四、〇三米疏水部一六、九七米、幅員はいずれも一五、五米とし、橋

面構造もコンクリート床版としてかけかえ、この擬宝珠も新に追補した  
昭和二十五年一月  
京都市長 神戸正雄

★昭和 10 年水害



●京都府城陽市 奈島 淀姫さん 水害





(背景) 城陽市 HP から引用

#### 生れ口樋門石碑と淀姫様の祠

昔、大水が出て下の浜の堤防がきれたとき、神さんが流されてきはったんや。堤防に引っ掛かってたんを誰かが祀らはったんやて。それが淀姫さんで、水を守る神さんやといういい伝えや。それは、木津川に堤防の杉に軒にお祀りしてある。毎年、九月二十三日に淀姫さん祀りをやっていて、屋形におさまっていはる神さんにお菓子をお供えして、神主さんが祝詞（のりと）をあげはる。昔は、神主さんに宮総代・奈島の氏子などが、皆、白装束で行かはった。ちょうどお彼岸の季節で、堤防の河原にずうっと彼岸花が咲いていてきれいやった。子供はお菓子をもらうのが楽しみやった。

★分類困難

●京都府 京丹後市網野町 郷村断層 震災





↑ 小池地区



↑ 生野内地区

(碑文 背景) 京都府 HP から引用

**1927 (昭和 2) 年 3 月 7 日に発生した北丹後地震 (M=7.3) で出現した 2 本の地震断層のうちの一つ (他は山田断層)。**

京丹後市網野町浅茂川西方から下岡、高橋、郷、生野内を経て京丹後市峰山町、京丹後市大宮町口大野へ至る全長 18km の郷村断層が出現した。北北西—南南東走向を持ち、全体として左雁行配列をなす 10 本程度の断層群からなる。

断層の西側が最大で約 100cm 隆起し、左ずれは最大で 270cm に達した。左ずれの最大変位を示すのは網野町高橋付近で、ここから南北両側へ離れるにつれて変位量が小さくなっている。活動再来周期は、垂直変位速度と地震変位量から約 1 万年程度と推定されている。

1985 年、地質調査所により、網野町立郷小学校北方でトレンチ調査が行われ、断層破碎帯を伴う明瞭な断層面が現れた。

郷村断層に沿って発達する断層変位地形は、西側上がりの比高約 50m の低断層崖、及び約 100m の谷や尾根の左ずれオフセットで、累積変位が明瞭である。郷～生野内間では花崗岩からなる丘陵性山地の尾根や谷に系統的な左ずれが見られ、高橋付近など数か所で段丘面を変位させている。

明治以後、日本の地震断層は約 20 例ほどしかないこと、1927（昭和 2）年の地震時に山田断層とともに共役系地震断層が生じたこと、はじめて科学的な地震及び断層調査が行われたこと、「活断層」という用語が日本で最初に用いられた点などで重要である。

また、山田断層帯と並んで、京都府北部の地殻変動を解明し、地震予知の情報を得る上でも重要である。現在、沖積平野では圃場整備が進み、地震時に変位した地形は、ほとんど確認できなくなっている。

なお、国の天然記念物として網野町郷の小池地区、樋口地区および生野内の 3 地点において断層が保存されており貴重である。

## ★丹後大震災



●京都府 京丹波町和知町 舟戸橋 水害







(碑文 原文)

舟戸橋史

往古一條の綱に依書状通信をしたるに依り状吊と称す舞鶴京都の要路たり文政十三年渡舟場明治初年丸太橋明治二十二年府の許可を得橋錢を徴す板橋を架設舟戸橋と称す町村制に依り村道と成大正十二年由良川發電所創設に俱ひ鉄線吊橋となりたるも再三風水害を蒙り又昭和二十八年九月二十五日台風十三号に依り根こそぎ流出の憂目に相ひ村長以下係員の熱意と村民の努力と国庫補助に依り永久橋を架設され地元民の受益浩大にして歎喜に堪ず記して後昆に傳へん

村長 片山忠俊

助役 瀬野政行

収入役 梅原良一

村会議長 原田栄之助

全副議長 谷半治郎

土木委員長 下林俊一

土木書記 白波瀬米藏

全 木下清太郎

土木委員 片山征男

全 十倉武太郎

全 樋口義雄

全 尾池富三郎

地方委員 大村慶太郎

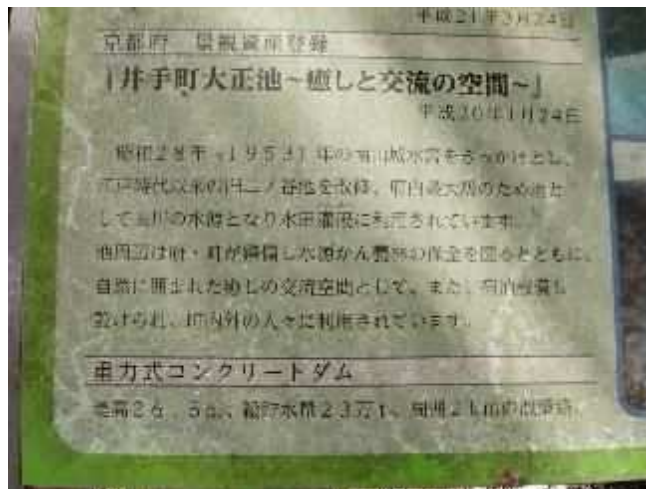
全 西村源太郎  
全 原田金太郎

昭和二十九年三月着工  
昭和三十年三月完工  
施工者 京都 公成社  
和知 河田組

★由良川水害

●井手町 大正池 水害





（碑文 原文）

昭和28年（1953）年の南山城水害をきっかけとし、江戸時代以来の旧二ノ谷池を改修、府内最大級のため池として玉川の水源となり水田灌漑に利用されています。

※昭和28年南山城水害